

武井 共夫 委員提出資料

平成27年2月3日

第4回自殺対策官民連携協働会議

自殺対策についての弁護士会の活動

2015年1月26日

弁護士 武井共夫

1 日本弁護士連合会のシンポジウム等

2009年8月「自殺対策ワーキンググループ」発足

(その後貧困問題対策本部自殺問題対策プロジェクトチームに改組)

2011年7月「全国自殺対策ネットワークづくりに関する全国協議会シンポジウム」開催

2012年10月4日人権擁護大会シンポジウム「強いられた死のない社会をめざして～「自殺」をなくすために私たちができること」開催

2012年10月5日「強いられた死のない社会をめざし、実効性のある自殺防止対策を求める決議」を採択

2013年11月30日「第2回全国自殺対策ネットワークづくりに関する全国協議会シンポジウム」開催

2 全国一斉「暮らしとこころの総合相談」

2014年3月実施

2014年9月実施

2015年3月実施予定

3年間の推移

	24年3月	9月	25年3月	9月	26年3月	9月
実施弁護士会数	39	46	44	44	49	42
相談件数	786	744	838	838	1221	717
協力者参加会数	19	19	9	10	22	21

2014年9月実施分から、協力者への謝礼を予算化したので、協力者を増やしたい。

3 各地での自治体や他職種の専門家等と連携しての各弁護士会の取組

「第2回全国自殺対策ネットワークづくりに関する全国協議会シンポジウム」報告集を活用して取り組みを進める。

東京都福祉保健局自殺総合対策担当課長と自治体との連携を伴う自殺対策について意見交換を実施。

今後も各自治体や各関係団体との懇談会等を実施予定

今年度は、「第3回全国自殺対策ネットワークづくりに関する全国協議会シンポジウム」も開催を企画中

4 弁護士のスキルアップの取組

(1) 日弁連で実施

【ライブ実務研修】2014年10月実施

自死遺族が抱える問題～生命保険の給付を巡る問題を中心に～（自死遺族が抱える法的問題）～現在eラーニング配信中

(2) 各単位弁護士会で研修実施

自死遺族やメンタルな悩みを抱えた相談者への対応法等

5 弁護士自身の自殺対策・メンタルヘルス

(1) 警察庁・内閣府の統計による弁護士の自殺者数

21年	22年	23年	24年	25年
10	13	8	14	8

(24年は13の統計もある)

同僚らから試験的に事情聴取を開始

(2) 対策

① 弁護士のためのメンタルヘルス相談窓口の設置

～弁護士国民健康保険組合や弁護士協同組合などで地域的には大都市とその周辺に限定されるが、過半数の会員はカバー

全国をどうカバーするかが課題

② 各種研修

顧客のメンタルヘルスと自分自身のメンタルヘルスについて

③ 会員サポート体制の充実

④ 弁護士のメンタルヘルスハンドブックの作成も提案されている

6 その他